

平成30年度 足利南高等学校 自己評価結果について
調査対象者 41名 提出率 100%

具体的方策について『A:達成している』『B:ある程度達成している』の合計が70%以上であれば、自己評価としては目標を達成できていると考える。

重点目標6項目「総合学科の特色を十分に生かした教育活動」「安心安全な学校作り」「基本的生活習慣の確立」「基礎基本の徹底と学習習慣の確立を図る」「部活動の奨励と加入率の向上」「一人ひとりの強みを生かした進路の実現」の22の項目のうち、A・B評価の合計が11項目で80%以上となり(うち3項目は90%以上)、残りの項目も8項目が70%以上と概ね目標は達成されているものとする。

・重点目標2の質問項目「帰属意識と規範意識の高い学級づくり」では、「集団活動を通して他を思いやる心、社会性を身につけ、ルールの必要性に気づけるように導く」、重点目標3の質問項目では「礼儀をわきまえた言葉遣いができるよう全職員で確認しあい指導する」のA・B評価がそれぞれ73%と71%と低く、20%を超える教職員が不安視している。指導のあり方を連携して考えていかなければならない。

・重点目標3の質問項目「あいさつの励行」については、教員の評価も保護者の評価も上昇しており、あいさつの指導が浸透してきていると思われる。

・重点目標5の「部活動の奨励と加入率の向上」の項目では、昨年よりマイナス傾向にある。また、今年度新設された重点目標6の質問項目については、すべてA・B評価の合計が70%台であることから、いずれも今後の対策が必要とされる。

重点目標(1) 総合学科の特色を十分に生かした教育活動を推進						
① 評価項目 (具体的目標)	② 評価の観点 (具体的方策)	A+B評価(%) (昨年度/比)	評価結果(%)			
			A	B	C	D
1) 総合学科の特色を生かした授業の実施	進路ガイダンスやスクールインターンシップ等を実施し、「産業社会と人間」「総合学習Ⅰ・Ⅱ」の授業を充実させる。	85.4	17.1	68.3	12.2	2.4
2) 生徒の希望に応じた科目選択	「産業社会と人間」「総合学習Ⅰ」の授業を通して、生徒の進路希望に応じた科目選択ができるようにする。	70.7	9.8	61.0	26.8	2.4

重点目標(2) 安全安心な学校作り						
① 評価項目 (具体的目標)	② 評価の観点 (具体的方策)	A+B評価(%) (昨年度/比)	評価結果(%)			
			A	B	C	D
1) 帰属意識と規範意識の高い学級づくり	学級、授業、特別活動、部活動において能力に応じた役割を果たす機会を設けるなどして集団の構成員としての意識を持たせる	87.8 (85.4/2.4↑)	14.6	73.2	12.2	0.0
	集団活動を通して他を思いやる心、社会性を身につけ、ルールの必要性に気づけるように導く	73.2 (90.2/17↓)	12.2	61.0	26.8	0.0
	HR、各教科、行事、特別活動、部活動等において人権尊重の意識を育てる運営を図る	90.2 (90.2/0.0→)	9.8	80.5	9.8	0.0
2) 人権尊重を意識した授業・学級づくり	自らの言動が生徒を傷つけたり、生徒によるいじめを助長していないかを常に確認する	85.4 (92.7/7.3↓)	19.5	65.9	12.2	2.4
3) いじめのない学校づくり	未然防止、早期発見のための情報交換、調査や面談の実施を定期的に行う。	80.5 (95.1/14.6↓)	14.6	65.9	19.5	0.0
	いじめに繋がる出来事やいじめに対して迅速に対応する	85.4 (95.1/9.7↓)	29.3	56.1	14.6	0.0

重点目標(3) 基本的生活習慣の確立						
① 評価項目 (具体的目標)	② 評価の観点 (具体的方策)	A+B評価(%) (昨年度/比)	評価結果(%)			
			A	B	C	D
1) あいさつの励行	毎日の学校生活の中で教師側から積極的に挨拶する。	90.2 (95.1/4.9↓)	39.0	51.2	7.3	2.4
2) 遅刻の減少	遅刻と早退の多い者については保護者へ通知するなどし、改善のための指導を行う。	87.8 (85.4/2.4↑)	22.0	65.9	9.8	2.4
3) ルール・マナーの遵守	礼儀をわきまえた言葉遣いができるよう全職員で確認しあい指導する。	70.7 (70.7/0.0→)	12.2	58.5	24.4	4.9
	交通街頭指導や駅周辺での指導などを通して、交通マナー及び公共のマナーの遵守と自転車・バイクの安全運転の促進を図る。	95.1 (92.7/2.4↑)	26.8	68.3	4.9	0.0

重点目標(4) 基礎基本の徹底と学習習慣の確立を図る						
① 評価項目 (具体的目標)	② 評価の観点 (具体的方策)	A+B評価(%) (昨年度/比)	評価結果(%)			
			A	B	C	D
1) 基礎・基本の徹底	「ベーシック」などを通し学ぶ姿勢及び基礎学力の向上を図る。	82.9 (82.9/0.0→)	17.1	65.9	17.1	0.0
	漢字力の育成・向上のために月1回漢字テストを実施する。	85.4 (92.7/7.3 ↓)	41.5	43.9	14.6	0.0
2) 自学自習の充実	放課後等に生徒が自主的に学習する場を設けたり、個別指導や課外・補習を行うなど学習指導の充実を図り、学習習慣の確立を目指す。	75.6 (75.6/0.0→)	24.4	51.2	22.0	0.0
3) 授業の充実	生徒の興味関心が高められるような、生徒にとって魅力ある授業の工夫に努める。	78.0 (85.4/7.4 ↓)	7.3	70.7	17.1	0.0

重点目標(5) 部活動の奨励と加入率の向上						
① 評価項目 (具体的目標)	② 評価の観点 (具体的方策)	A+B評価(%) (昨年度/比)	評価結果(%)			
			A	B	C	D
1) 部活動の奨励	なるべく多くの生徒が部活動に加入し、主体的に活動できるよう指導充実を図る。	61.0 (61.0/0.0→)	9.8	51.2	36.6	2.4
2) 加入率の向上	生徒の実態を把握し、活動しやすい環境を整える。	68.3 (65.9/2.4 ↑)	2.4	65.9	31.7	0.0

重点目標(6) 一人ひとりの強みを生かした進路の実現						
① 評価項目 (具体的目標)	② 評価の観点 (具体的方策)	A+B評価(%) (昨年度/比)	評価結果(%)			
			A	B	C	D
1) 進路意識の高揚	進路相談の促進	75.6	12.2	63.4	24.4	0.0
	面接試験への対応	78.0	17.1	61.0	19.5	0.0
2) 進路情報の収集と活用	受験報告書の活用を促すなど、進路指導室、進路学習室の活用促進を図る。	73.2	19.5	53.7	22.0	4.9